

## 令和5年度第1回鹿児島市交通事業経営審議会

日時	令和5年度第1回鹿児島市交通事業経営審議会	会場	交通局3階 第2会議室
出席者	古川会長、小山委員（副会長）、江口委員、碓山委員、石田委員、東川委員、奈良迫委員、下赤所委員（8名）		
市出席者	交通事業管理者、交通局次長（総合企画課長）、総務課長、経営課長、電車事業課長、バス事業課長		
会次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 委員及び事務局紹介</li> <li>3 交通局長の挨拶</li> <li>4 会長及び副会長の選任</li> <li>5 報告             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和5年度鹿児島市交通事業特別会計予算の概要</li> <li>(2) 鹿児島市交通事業経営計画の実施状況について（令和4年度実績）</li> <li>(3) 令和4年度市電・市バス乗車実績等について</li> <li>(4) 事故等調査委員会の開催について</li> <li>(5) 令和4年11月以降の主なトピックスについて</li> </ol> </li> <li>6 閉会</li> </ol>		

### 会次第4 会長及び副会長の選任

発言者等	協議事項・質疑・回答等
事務局	会次第「4. 会長及び副会長の選任」であるが、資料2の審議会規定をご覧いただきたい。第4条により会長・副会長は委員の互選により、決定することとなっており、自薦、他薦問わず、適任と思われる方がおられたら、ご推薦いただけないか。
委員	会長にはこれまで就任されていた古川委員を、また副会長も同じく、これまで副会長に就任されていた小山委員を推薦する。
事務局	委員からご推薦があったが、いかが。
委員	異議なし。
事務局	異議なし、とのことであるので、会長を古川委員、副会長を小山委員に決定する。

### 会次第5-(1) 令和5年度鹿児島市交通事業特別会計予算の概要

発言者等	協議事項・質疑・回答等
	（質疑なし）

### 会次第5-(2) 鹿児島市交通事業経営計画の実施状況について（令和4年度実績）

発言者等	協議事項・質疑・回答等
委員	抜本的見直しにより運転士を削減していると思うが、全国で見られるような運転士不足の問題は生じていないのか。
事務局	自動車運送事業の抜本的見直しに伴い人件費の抑制を図ったところであるが、バス運転士は路線移譲により順次減員をしており、現時点では業務量に見合ったバス運転士を確保できている状況である。
委員	電停ネーミングライツの導入について、市民、契約企業からの反響・意見は。
事務局	市民・利用者の皆さま方からは待合環境の改善につながった等好意的な意見があり、企業

	からも知名度を高めることにつながっているとのことだった。良い評判を広く周知して、更に件数が増えることを期待している。
委員	キャッシュレス決済に関連して、鹿児島市の全国交通系 IC カードの導入については、導入コストがかかると思うが、今後の方向性は。
事務局	全国交通系 IC カードについては、設備投資に費用がかかることもあるが、既存のラピカシステムをどうするか検討する必要があり、市内の交通事業者間での調整も必要である。昨年より市電でクレジットカードタッチ決済の実証実験を開始しており、利用状況を注視している。今後のキャッシュレス決済については、総合的に検討していきたい。
委員	コロナ禍で休止していた運転体験等イベントについて、令和5年度の実施状況は。
事務局	令和4年度に中止した体験イベントについては、令和5年度は市電運転体験・かごでんツアーは例年通り実施する予定であり、整備士体験はリボン館で実施した。
委員	(デポジットなしの) 観光おもてなしラピカは経費が嵩むものか。
事務局	中古のラピカを再利用しており、印刷代等の経費はかかるが、大きいものではない。本市のイメージ向上に資するものであると考えている。

会次第 5-(3) 令和4年度市電・市バス乗車実績等

発言者等	協議事項・質疑・回答等
委員	バスについて路線移譲分をのぞいて対元年度比90%程度の回復状況かと思うが、路線移譲でコストを抑えて推移した場合に、バスの路線移譲による運送収益の分岐点のレベルをどのように設定しているか。
事務局	(運賃など各見直しを進める前提であるが) コロナの影響が無くなると見込んでいる令和8年度に市電を合わせた交通事業全体での収支均衡が図られる試算となっている。

会次第 5-(5) 事故等調査委員会の開催について

発言者等	協議事項・質疑・回答等
委員	基本動作によるもの、ヒューマンエラーと認識してよいか。経験値不足なのか、体調不良によるものか。ここ数年で市電の事故が増えていると思うが、これまでと違う対策が必要なのではないか。
事務局	基本動作のミスによるもので、当該運転士は確かに経験が浅いものの、添乗指導による研修をしっかりと受けている。対策としては、全運転士に対する添乗指導を年4回に増やして指導をしている。
委員	今回の事故で負傷者がいなかったことが幸いだが、交通事業者としてあってはならないことだと認識している。ソフト面だけでなく、ハード面での事故防止対策の検討をしていただきたい。要員が足りていたとしても勤務時間の問題、業務形態の問題もあると思うが事務局の考えは。
事務局	当該運転士については前日・前々日の体調は異常なく、当日朝の点呼の際も異常がなかった。また、指差し確認等の徹底等によりヒューマンエラーを防ぐこととしたい。ハード面での対策については今後の技術開発の動向も見ながら検討する。 再発防止策に取り組んでいる最中での事故であったが、改めて事故防止対策に取り組んでまいりたい。
委員	他のバス会社では眼精疲労防止のために、サングラスを着用しているところも増えているが、交通局では取組をしているか。

事務局	交通局では着用していない。
-----	---------------

会次第 5-(6) 令和 4 年 1 1 月以降の主なトピックスについて

発言者等	協議事項・質疑・回答等
委員	クレジットカード決済のブランド拡充について、中国からの観光客を考慮すると、銀聯の導入は評価したい。
委員	貸切バスの二つ星の認定は素晴らしいと思うが、バスは足りているか。
事務局	貸切バスについては、今年度に入ってインパウンド・学校行事の利用が回復しているが、元年度の数字と比較すると 5 割程度の回復状況である。
委員	デジタルサイネージについて、視覚、聴覚障害者への対応は。
事務局	表示は色覚障害者に配慮したものとなっている。音声案内は付いていないが、バスが到着した際には運転士が車内から車外へ向けて音声で案内を行っている。
委員	クレジットカードタッチ決済について、S u i c a と異なりチャージが不要なので、海外の方の対応を含め、良いサービスだという印象を受けた。
委員	タッチ決済のデータを見ると興味深いデータだと思っている。ラピカとの共存も可能と感じたが現時点での感触はどうか。クレジットカード利用が浸透すれば、全国交通系 I C カード利用を検討しなくてもよいのでは。
事務局	クレジットカードと I C カードの利用は今後拮抗してくる見込みである。鹿児島独自のラピカについては非常に利用していただいているが、導入してから期間が経っており老朽化の課題もあるので、今後本審議会にも諮りながら検討してまいりたい。

その他

発言者等	協議事項・質疑・回答等
委員	市電にドライブレコーダーは付いているのか。その他、ハード面の整備に費用がかかるのはわかるが、レール切替ポイントを音声で知らせる等対策できないか。
事務局	全車両にドライブレコーダーは付いている。ハード面での対策については今後考えていかなければならないと思う。